



Life with Sports



スポーツ
ともだち
仲間たち



Saitama Junior Sport Clubs Association



No. 59



PICKUP PHOTO

上段：川田谷ベアーズ

下段：(左から) 大寄ミニバス /
浦和パワーズ / 仲町ミニバス

初心忘るべからず

コロナ禍となり 2 年が過ぎました。この期間に指導者や母集団、少年団に関わる方たちが協力しながら、スポーツ環境や交流の場を整えてきたおかげで、通常の活動はもちろん、親子で行う季節の行事や、Jr. リーダースクールなどの様々な活動が行われました。普段の活動とは違った経験をすることで得られるものは多くあり、新たな体験だけでなく、幅広い年代との交流、保護者や指導者のいつものとは違った表情や感情に触れることができます。

子供たちを少年団に入れる時、ご自身が少年団に入った時「スポーツがしたい」だけでなく、きっと「面白そう、楽しそう」という気持ちがあったのではないのでしょうか。『初心忘るべからず』はまさに今だからこそ考えられることでもあり、最初の頃にあったワクワクを子どもたちに味わってもらうためにも、コロナ対策を考えつつ、団として一歩進むための交流の場を一緒に作っていきませんか。その交流の場は、子供たちだけでなく、大人の私たちが参加できる活動だと、より楽しくなりそうですね。

特集

育てよう『リーダー』 見直そう『卒団式』

アクティブ チャイルド プログラム

活動報告

- ・ジュニアリーダースクール
- ・登録指導者研修会
- ・令和3年度埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修会 WEB 研修

埼玉県スポーツ少年団だより

2022年(令和4年)3月31日発行

右記の県スポーツ協会ホームページ
からも情報誌をご覧ください。



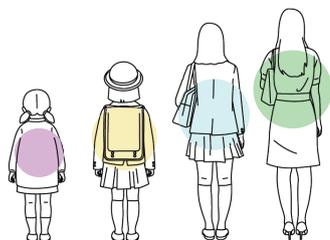
スポーツくじ

LOTTO
FOR ALL SPORTS OF JAPAN

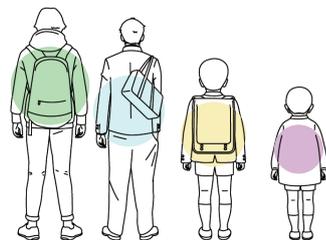
BIG
ビッグ

この情報誌は各単位団へ3部ずつ配布しています。指導者・母集団で回覧しましょう。

育てよう「リーダー」 見直そう「卒団式」



新たな一步を踏み出す子どもたちの環境の変化は、少年期の心にも大きな変化をもたらします。そんな中でスポーツ少年団が「いつでも帰れる場所」になるということは、スポーツを通じた繋がりや、地域への愛着心を育みます。今回の特集は、そんなスポーツ少年団をつくるためのカギとなる、「リーダー」についてです。



スポーツ少年団のあるべき姿

本誌がお手元に届くころは、新年度を迎えている頃だと思います。しかし、登録までにはまだ時間があるので、あえて書かせていただきます。それは『中学生になっても団員登録を継続していただきたい。』『小学校卒業と同時にに行われている「卒団式」「退団式」は、やめていただきたい。』ということです。

スポーツ少年団登録規程施行細則、第2条の1では「団員は、登録する年の4月1日現在満3歳以上とする。」とされており、団員の年齢の上限は規定されていません。(20歳になれば、指導者・スタッフ・役員へと移行はしますが…) それどころか、スポーツ少年団では、中・高校生が地域で活動することも前提としているのです。中・高校生の継続した単位団活動と並行して、リーダーの養成スクールへの参加を通じ、補助指導することの楽しさや素晴らしさを理解することは青少年の健全育成の面から見ても大変有意義なことです。そのためにも、中・高校生が単位団活動に参加できるよう、大人が環境をつくり、整えてあげることが大切です。

リーダーとは、よきお兄さん、お姉さん

スポーツ少年団では、単位団活動をしながら年少団員のまとめ役や指導者の補助的な存在となる団員を「リーダー」と呼んでいます。単位団の継続・発展に欠かせないのがリーダーの存在です。単に指導者の補助的存在としてだけではなく、指導者の方針にしたがって、団員の気持ちを理解してグループを

まとめ、さらに目標に向かってグループを前進させる役割は大きなものがあり、場合によっては指導者以上の効果を発揮することもあります。



日本スポーツ少年団は、なぜリーダーの育成をするか

- ① 個々の団員がもつ長所をもっと伸ばしていこうとする団員の個性伸長という目的
- ② スポーツ少年団創設の趣旨に基づいて、幅広い青少年育成活動として地域の中で発展させていこうとする組織的成長という目的
- ③ リーダー制度は、基本的には少年団の組織内部で後継指導者を育成する目的
- ④ 総合型地域スポーツクラブとしての発展に向けた取り組みへの対応
 - ・ 地域に開かれた青少年の生涯学習の機会
 - ・ 地域におけるスポーツ指導の後継者育成システム
 - ・ 中学生や高校生の地域活動のひとつとして期待されてくるのです。

中・高校生のリーダーを含めた、単位団運営を

団活動を指導者 → リーダー → 団員という中・高校生のリーダーを含めた運営にすることで、

- 年齢差による意識の違いやギャップを埋められる
 - 多様な活動分野においておこる問題をより民主的かつ効率的に解消できる
- 等の効果が期待でき、より魅力的なスポーツ少年団へ発展することができます。

今後、スポーツ少年団のリーダー活動は、地域の中学生や高校生にとって地域に開かれた「支えるスポーツ」活動、つまり社会活動のひとつとしても期待されてくるのです。

スポーツ少年団リーダー制度

このように、リーダーの役割はスポーツ少年団では重要なもので、「スポーツ少年団リーダー制度」としても確立されており、資質と能力の向上をはかるためのリーダー養成事業（ジュニア・リーダースクール、シニア・リーダースクール）も行われています。

ジュニア・リーダーの資格

対象… 小学校 5 年生以上中学生までの者が対象となります。（埼玉県の場合中学生のみ）

取得… 都道府県スポーツ少年団が開催するジュニア・リーダースクールを修了すると資格が取得できます。（市町村での開催も）

役割… 単位団において団員の模範となって活動します。

シニア・リーダーの資格

対象… 義務教育を終了した 20 歳未満のジュニア・リーダーまたは、ジュニア・リーダー認定資格者に準ずる者が対象となります。

取得… 日本スポーツ少年団が開催するシニア・リーダースクール及び通信研修課題を修了すると資格が取得できます。

役割… 単位団およびリーダー会において模範となって活動します。

- ※ 18 歳以上のシニア・リーダー資格認定者で、シニア・リーダー資格の認定から 4 年以内に都道府県スポーツ少年団が推薦し、日本スポーツ少年団が承認した方は、JSPO 公認スタートコーチ（スポーツ少年団）の養成講習会の受講を免除することができます。

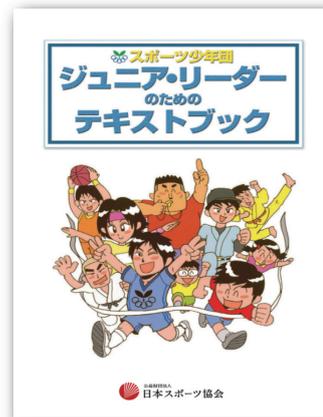
部活動改革、令和 5 年度より全国展開

今、『学校の働き方改革を踏まえた部活動改革』が動き始めています。文部科学省（スポーツ庁）は、「まずは、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築すべきである。一方で、休日の部活動に対する生徒の希望に応えるため、休日において部活動を地域の活動として実施できる環境を整えることが重要である。」としています。その担い手として、スポーツ少年団も候補になっています。

埼玉県スポーツ少年団では、昨年「部活動改革に関するワーキンググループ」が立ち上げられ、スポーツ少年団として何ができるのか、どう対応すればよいのかを検討しています。休日の活動の受け皿となるのか、指導者を派遣するのか、両方なのか、全く別のかかわり方があるのか、いずれ方針も出されず。中学生を受け入れない単位団は、存亡の危機に立たされるかもしれません。

もっと知りたい！リーダーのこと！

リーダーについて詳しく知りたい方は、ぜひ日本スポーツ少年団の発行する「ジュニア・リーダーのためのテキストブック」をご覧ください。



日本スポーツ協会 HP
リーダーとは
【役割・資格】

令和 4 年度埼玉県ジュニアリーダースクール活動予定

<日 程> 令和 4 年 8 月 19 日（金）～ 21 日（日）
2 泊 3 日

<募集期間> 6 月中旬募集開始 7 月下旬締切

<申し込み> 市町村スポーツ少年団本部を通じて、申込み。

アクティブ チャイルド プログラム

みんなで遊んで
元気アップ!



本誌でも過去複数回に渡る特集でお伝えしている『アクティブ・チャイルド・プログラム (ACP)』。すでにご存知の方も多いと思いますが、活用の方法は皆さんが思っている以上にたくさんあります！幼児向けのプログラムとして、交流を目的とした運動として、練習の導入として、様々な場面で取り入れてみてください。

今回紹介するプログラム以外にも、日本スポーツ協会の特設サイトで多くのプログラムを見ることができます。QRコードを読み取り、ぜひご活用ください。



JSPS「ACP 特設ホームページ」



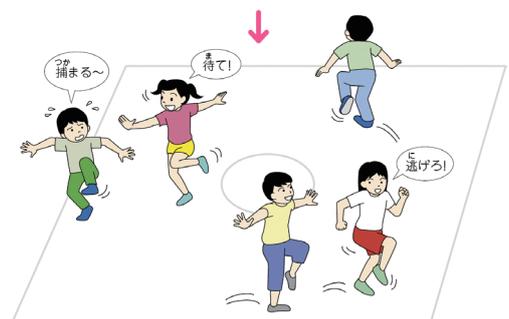
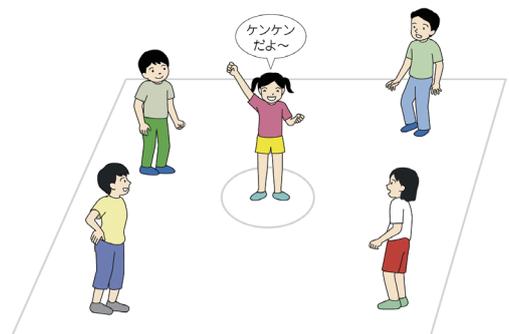
王様オニごっこ

■ 遊び方

- ① オニを1人決めます。
鬼は中央の円の中で好きなステップ（ケンケンやスキップなど）を指定して、オニごっこをはじめます。
- ② 子はオニが指定したステップで逃げます。
- ③ タッチされたら、オニを交代します。新しいオニは中央の円に行き、新しいステップを指定して再びはじめます。

★ アレンジしてみよう

- ▶ オニごっこの範囲を工夫してみましょう
- ▶ オニが中央に行けば、何度でもステップを変えられるようにしてみましょう
- ▶ ステップではなく、動物の動作や乗り物の真似などに変更してみましょう



落とさずに捕まえろ!

■ 遊び方

- ① 参加者（10人～15人程度）全員が、ティッシュ（レジ袋や新聞紙でも可）を胸やお腹の位置に起きます。
- ② オニを2人決め、手を使わずに、ティッシュを落とさないように走りながら、鬼ごっこをします。
- ③ 途中でティッシュを落とした人は5秒間動けません。ただし、5秒経ったら再び参加できます。

★ アレンジしてみよう

- ▶ 慣れるために、ティッシュを旨やお腹の位置において、どれくらいの距離を走れるか競争してみましょう。

オニに追いかけていない子どもも、ティッシュを落とさないように走るため、『**身体コントロール能力の向上**』『**敏捷性の向上**』『**持久力の向上**』などの効果が期待できます。



ことごと

■ 遊び方

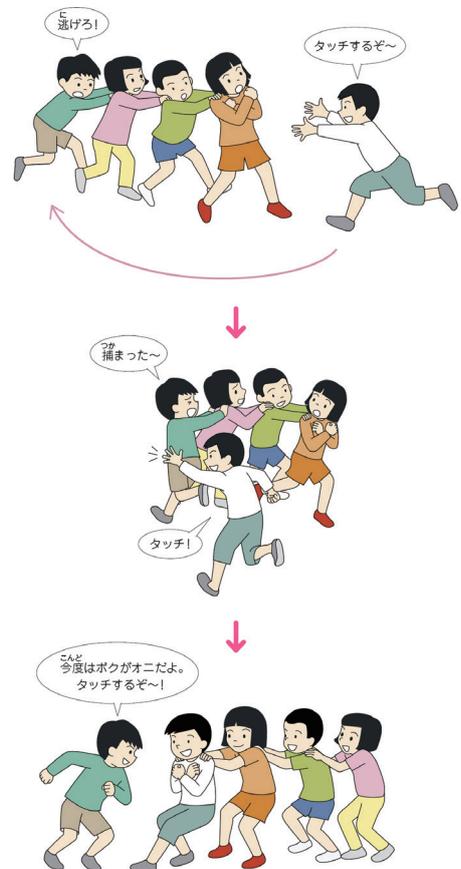
- ① オニを1人決め、他の3～4人は前の人の肩に手を置いて列車を作る。
- ② オニは列車の一番後ろの子をタッチできたなら勝ち。
- ③ 列車は後ろの子がタッチされないように動く。列車の手が離れたら子の負け。
- ④ 勝負が決まったら、オニは列車の一番後ろになり、列車の先頭はオニになる。
- ⑤ これを繰り返して遊ぶ。

★ アレンジしてみよう

- ▶ 列車の人数を変え、長くしたり、短くしたりしてみよう。
- ▶ 時間を短く区切って遊んでみよう。

● 気をつけること

- ▶ 列車の先頭が手を広げるとオニがタッチしづらくなるので、胸の前で腕をクロスさせよう。



親子で楽しむ **ACP**

日本スポーツ協会が発行している、「運動遊びデジタルガイドブック」には、親子で楽しみながら、簡単にできる運動がたくさん掲載されています。ご自宅での運動や、レクリエーションの一つとして、是非取り入れてみましょう!



ジュニアリーダースクール

令和4年1月8日(土)～9日(日)の2日間、上尾市のスポーツ総合センターにおいてジュニアリーダースクールが開催され、8市町から40名(中学1年生～中学3年生の団員)が参加しました。



「スポーツ少年団とは」に始まり、「リーダーとは」やレクリエーション活動、レクリエーションプログラム作成のための知恵などの講義を受けたり、班ごとに「理想のリーダーとは」をテーマとしたディスカッション活動を通して、スポーツ少年団における「リーダー」の役割について学び、考えました。

ジュニアリーダースクールに参加するきっかけは所属単位団の指導者や先輩リーダーに声をかけてもらったりということではありますが、この研修会を通して参加団員自身がスポーツ少年団のことを知り、リーダーの役割を学び、運営リーダーたちと接する中で、この後自分たちがなりたい「リーダー像」を主体的に語り合うまでになりました。

スポーツ少年団活動の基本である「主体性」をもち、リーダーとしての活動を語りあう子どもたちの姿を見てみると、2日間という短い時間の中に成長を感じ、さらには今後の成長の種を持ち帰ってくれたのではないかと感じました。

最後は事後レポートとして、集合での研修会終了後にレポートを課し、無事40名全員が認定となりました。40名の新たなジュニアリーダーたちには、今後の活躍を期待するとともに、指導者の皆さんには彼らたちが今後も活躍し続けられる環境の整備をお願いしたいと思います。

令和3年度
埼玉県スポーツ少年団
指導者現地研修会
WEB研修

令和4年1月30日(日)に「埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修会」が開催されました。今年度も昨年同様に新型コロナウイルス感染予防・拡散防止の観点からWEB研修にて実施し、市町村の代表指導者(県本部員含む)43名が参加しました。

14:00 **開会** 本部長あいさつ・正副本部長紹介 委員会活動報告

14:25 **基調講演** YouTube 動画視聴 90分

- ・ コロナ禍の今、子どもたちの運動を継続させるための親・指導者の役割を考える

16:05 **グループディスカッション** (5グループに分かれて)

- ・ 講義を聴いて感じたこと
- ・ 年代別スポーツの意義について
- ・ 活動を継続していくためにどのような工夫をしてたら良いか

17:00 **閉会**

基調講演の講師、吉田繁敬氏(アイ・プラス株式会社代表取締役/心理カウンセラー)からは、『発育・発達期のスポーツの意義はこころとからだをそだてることのあり、この時期にスポーツから離れると将来スポーツを続けられないことが多い。』『現在は基礎的動き(走・跳・投など)が十分に備わっていない子どもが増えており、その解消のための運動遊び(ACPなど)の活用が必要。』など、スポーツ少年団の理念や活動につながる内容が伝えられました。

登録指導者研修会

令和4年1月9日(日)、上尾市のスポーツ総合センターにおいて登録指導者を対象とした研修会を実施しました。「スポーツ少年団」の理念を再確認しつつ、リーダー育成にも焦点を当て学んでいただきました。同日程で開催されていたジュニアリーダースクールの様子も見学も取り入れました。リーダー育成はスポーツ少年団活動において重要な柱でありながらも、実際には単位団指導者の方々の理解が進んでいないのが現状です。リーダーの育成の重要性を実際に現場も見ていただきながらお話ができたことは貴重な場となりました。

また、県事務局から指導者制度の変更や旧認定員からコーチングアシスタントへの移行手続きに関する内容を情報提供させていただきました。今回は23名の参加と予定していた人数には満たない中での開催となりましたが、研修会終了後も多くの方が質問をするなど充実した研修会となりました。令和4年度も開催する予定ですので、学び直しの機会、新たな情報収集の場としてより多くの指導者の皆さんにご参加いただけたらと思います。

【お詫びと訂正】

令和3年12月発行の「スポーツともだち仲間たち」に掲載した、日本スポーツ少年団表彰受賞者の所属に一部誤りがございました。深くお詫び申し上げますと共に次のとおり訂正させていただきます。

<誤> 【バスケットボール】西松 清志
大宮春岡FC スポーツ少年団(さいたま市)

<正> 【バスケットボール】西松 清志
荻島バスケットスポーツ少年団(越谷市)

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険®

保険期間

令和4年4月1日午前0時から
令和5年3月31日午後12時まで

保険内容

詳しい保険の内容は、
ホームページなどをご覧ください。

4名以上の団体・グループで
ご加入ください。

ご加入はインターネット
でお手続きが便利です！ **スポあんネット**

- パソコンやスマホから簡単操作！ 手書きや書き直しが不要！
 - コンビニエンスストアまたは Pay-easy※でスムーズに掛金支払い！
 - 傷害事故の通知および内容の履歴や加入手続の履歴が確認可能！
- ※ゆうちょ銀行等のATM・ネットバンキングでもお支払いできます。

公益財団法人 スポーツ安全協会
埼玉県支部 (TEL) 048-779-9580
電話受付時間 午前9時～午後5時(土、日、祝日を除く。)



スポーツ安全保険 **検索**

加入区分・掛金

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	
子ども (中学生以下)	スポーツ活動	A1	800円	
	文化活動 ボランティア活動 地域活動			
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円	
		B 65歳以上	1,200円	
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円	
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円	
子ども (中学生以下)	個人活動補償型	A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
		C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW 64歳以下 WEB加入限定	4,850円
大人 (高校生以上)	B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW 65歳以上 WEB加入限定	5,000円	

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。 年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。
(注)C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和4年4月1日」を基準とします。

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社 ☎ 0120-233-801
担当課 公務第2部 文教公務室 (平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(令和4年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保



スポ少フォト 募集中!

表紙等、本情報誌に掲載する写真を募集します。応募方法と注意点は以下の通りです。たくさんの応募をお待ちしています。

募集テーマ **世代を越えた関わり**

応募期間 **令和4年6月30日(木)まで**

応募方法 撮影した写真データを、県スポーツ少年団事務局宛に電子メールで送付してください。なお、メール本文には、以下タイトルと①～④の必要事項をご記入ください。

地域の方と行う活動の様子なども対象です!



メールタイトル: スポ少フォト申し込み

①市町村名 ②単位団名 ③団代表者氏名 ④写真タイトル



県スポーツ少年団事務局

saitamaken@japan-sports.or.jp

注意点

- ・ 応募する写真データの容量は3メガバイトまでとしてください。
- ・ 写っている人物に許可をとってから応募してください。
- ・ 掲載が決定した写真の応募者にのみ、掲載決定のご連絡をさせていただきます。
- ・ 応募写真の著作権は埼玉県スポーツ少年団に帰属し、本情報誌での掲載に使用させていただきます。

